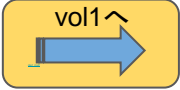




第4日目(7/18) 現地3日目 八瀬とのお別れ・気仙沼高校交流 vol2

※訪問先情報はvol1 をご覧ください。



気仙沼高校でのワークショップ



気仙沼高校でのワークショップ



気仙沼高校でのワークショップ



気仙沼高校でのワークショップ



生徒代表として坂本さんが挨拶



全員で記念撮影・集合写真

生徒たちのふりかえり(vo2)
3年坂本



最終日は気仙沼高校の方達と交流会を行いました。最初は初対面で緊張した部分もありましたが、気仙沼高校の方は皆和気あいあいとしてとても安心しました。防災に関するワークショップではすぐに意見が飛び交い、とても充実したものになりました。気仙沼高校の方は震災や津波を経験しただけあって意見がすぐに出てきていて、そして1人1人がとてもしっかりしていてとても尊敬しました。私は震災を経験しましたが津波は経験したことがなかったので、今回のワークショップで違う視点から震災を再確認することができ、とても勉強になりました。

2年中村

今日は気仙沼高校の方々と交流会をしました。暖かく迎えられたので、はじめは緊張していましたが徐々にリラックスをして話すことができました。まず自己紹介をして東日本大震災が起きた時、なぜ多くの人が避難しなかったのかということについて話し合いました。いるところが安全だと思ったから。家族に高齢者や障がい者がいて避難できなかったから。周りの人が避難しなかったので私たちも避難しないで良いと思ったから。避難する場所が分からなかったから。などの意見が出ました。それらは全部“何か”をすれば変えることが出来たと思います。例えば家族に避難できない人がいたならば、その家族だけでなく近所の人も協力して避難したり、避難場所が分からなかったのは前々からどんな経路で、どこに逃げたらいいのかを話しあっていたら良かったことだと思います。災害はいつ、どこで起こるのか分からない。そのために何よりも備えが大事だと思います。次に気仙沼高校の生徒は東日本大震災、私たちは大阪北部地震のことについて当時何をしていたかを話した時、やはり何も出来なかったという意見が大半を占めていました。今後同様な災害があった時にどう活かしていくのが大事だと思います。気仙沼高校の人たちとのご縁を大切に今後自分たちがどう行動すればいいのかを考えて行動出来る人になりたいです。

2年前川

気仙沼高校の方々と交流してみて最初は住んでる地域も方言も少し違ったり、考え方など違ったりして大丈夫かなと心配で緊張していたけど優しく笑顔で話してくれてとても居心地が良かったです。気仙沼高校の生徒さんが東日本大震災発生時の実際の体験談や体験して思ったこと感じたことを話してくれて自分が思っていたこととは違うことがありました。例えば、津波から逃げるときが一番大変だと思っていたけど食料や物、家など流されてしまったので発生した後の避難生活が一番大変だったりするということを学びました。その他のことでは津波がくる直前に2階のトイレに行って奇跡的に助かったという体験談を聞いたりしてほんの一瞬の一つ一つの行動、判断で命の生死が分かれるということを改めてとても実感しました。

